



TITLE:

下層金融と國民性

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 下層金融と國民性. 經濟論叢 1915, 1(2): 224-237

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126883>

RIGHT:

經濟論叢

第一卷

論說

●でぐるつこひゆゝむノ經濟學說(三)

雜錄

●米ノ豐凶ト米價

●まるさす人口論初版以下各版ノ差異

報 雜

●れきしす教授逝ク

●帝國人口統計ノ描畫圖

法學博士 福田 徳三

講師 高田保馬

法學博士
河上肇

法學士 本庄榮治郎

教授 財部 靜治

教授 財部 靜治

五
版
禁
轉
載

雜 錄

下層金融と國民性

法學博士 神 戸 正 雄

(一)

一體金融機關ハ資力智力徳力ノ大ナル上層社會ノ爲メニハ益々完備スル勢ヲモツノニ、中下層社會ノ爲メノ金融機關ハ不完全タルヲ免レヌ傾ガアル。上層階級ハ唯サヘ經濟上益々繁榮スヘキ權利ヲ有ツノニ、外部ニ於ケル金融機關ノ發達ノ爲メニ益々此勢ヲ助長セラルルコトニナリ。下層階級ハ唯サヘ經濟上ノ發達能力ノ乏シキノニ、金融機關ノ不完全ノ爲メニモ愈々不利益ヲ被ムル。斯クテ富者ハ益々富ミ、貧者益々貧トナリ、貧富ノ懸隔ノ大ナルヲ致スト共ニ、社會的反目嫉視ガ甚シクナル。決シテ望マシキ社會狀態デハナイ。國家爲政ノ局ニ當ル者ハ當サニ這般ノ大勢ヲ洞察シテ、之ヲ適當ニ改善スルコトニ意ヲ用キナケレバナラス。特ニ下層社會ハ資力及智力ノ乏シキ弱者デアルカラ、公平ノ見地カラシテモ社會又ハ國家ガ相當ニ助勢ヲ爲シテ下層金融ノ完備ノ爲メニ力ヲ用キナケレバナラス。然ルニ此下層金融ガ日本デハ日本人ノ國民性ノ弱點ノ爲

メニ其完成ヲ妨ゲラルル所以ノモノガアリ、隨テ此下層金融完成問題ガ懸ガテ國民性改良問題ニ觸ルルコトニナル。予ハ茲ニ此點ヲ明ニシテ識者ノ注意ヲ惹キタイト思フ。タダ農村ニ於ケル下層金融ニツイテハ既ニ大要、五月號ノ『新日本』ニ於テ説明シタカラ、茲ニハ主トシテ都會ニ於ケル其ニ就キテ述ヘヤウト思フ。勿論兩者ニ共通ノ點モアル。一々指摘スルニ及ブマイ。

(二)

今日我國デハ銀行ノ發達特ニ普通銀行ノ發達ガ著大デ、商工業者ハ其原料又ハ商品ノ仕入并ニ其他ニ入用ナル流動資金ヲ、其實却スル所ノ製品又ハ商品ノ代金ヲ手形金額トスル手形ノ割引ニヨリ又ハ其等ノ品物又ハ有價證券ヲ擔保トスル短期貸付ニヨリテ此銀行カラ獲得スルコトヲ得ル。彼等ノ要スル商工業ノ設立及擴張ニ關スル資金ニツイテハ、之ガ金融ノ爲メニ、設立及放資銀行ノ如キモノハ日本ニ未ダ完成シテ居ラスガ、普通銀行及動產銀行等ニ於ケル有價證券擔保ノ貸付、擔保附社債ニ關スル信託業務、社債ノ引受、株及社債ノ買入等ニヨツテ多少ハ此金融ガ行ハレテ居ル。不動產銀行ノ不動產擔保貸付ニヨリテモ達セラレテ居ル。タダ此等ノ金融方法ヲ十分ニ利用スルコトノ出來ルノハ大商工業者デ、中以下ノ特ニ小ナル商工業者ニナルト、之ヲ充分ニ利用スルヲ得ナイ。彼等ハ擔保タルヘキ不動產ヤ動產ニ乏シイ。動產ハ多少アルニシテモ、不動產ニ至テハ殆ンド全クナイ。賣却スヘキ製品又ハ商品ヲモツコトトハナルデアラウガ、其ヲ作リ又ハ其ヲ有ツコトトナル前ニ、既ニ資金ガナケレバナラス。其ヲ缺イテ居ル。右ノ諸金融方法必スシモ彼等ノ依ルコトノ出來ナイ所ノモノデアル。

(三)

是ニ於テカ彼等小商工業者ハ或ハ原料ヲ供給シ又ハ商品ヲ卸賣スル所ノ大商工業者ヨリ除賣ニテ金融ヲ受ケル。或ハ彼等ノ製品ヲ買集メテ國內又ハ外國へ賣出ス所ノ仲繼の大商業者ヨリ前貸ヲ受ケル。勿論其等ノ大商工業者ハ前記ノ有ラユル金融機關ヲ適宜ニ利用スルノミナラズ、其他ノ金融方法ヲモ利用スルコトガ出來ル。小商工業者ハ即チ此等大商工業者ノ仲介ニヨリテ右ノ金融ヲ受ケルコトニナル。小商工業者ノ如ク元來資力乏シク、如何ニ努力シテモ少數成功者ノ外、多數ノ者ハ到底漸ク其生計ヲ立ツルヲ得ルニ止マリ、何時マデ經ツテモ餘裕ハ出來ズ、常ニ遺縁算段デ其日々々ヲ送ル者ハ、始終斯カル金融ヲ繰返ヘスノ外ハナイ。併シ此方法ハ小商工業者ヲシテ大商工業者ノ膝下ニ奴隸トシテ從屬セシムルモノデ、結局金融上ニモ相當ニ高利ナル資金ヲ供セラルルコトトナルノミナラズ、商取引關係ニ於テモ不利ナル條件ヲ忍バナケレバナラナクナルノ缺點ヲ有ツ。已ムヲ得ザル結果トハイヒナガラ、洵ニ氣ノ毒デモアリ、意氣地ナキコトデモアル。實際此金融方法ガ對内商工業ニ於テノミナラズ、輸出工業ニ於テモ盛ニ行ハルルニ依ツテモ、日本ノ輸出工業ノ基礎ガ薄弱デ、其信用ガ確立セズ、其發達ノ困難ナルコトガ想像セララル。日本ノ輸出工業ガ此仲繼商人ノ羈絆ヲ脱シテ、其自身ノ共同自助の基礎ノ上ニ恒久的ノ堅實ナル營業方針ヲ進ムコトニナラザル以上、其大發展ヲ遂グルコトハ出來ナイ。如何ニ天與ノ好機ガ目前ニ來ツテモ、此根本ノ定マラザル以上、空シク之ヲ逸シ去ルノ外ハアルマイ。商業者ハ眼中唯利アルノミデ、而モ工業者ノ如ク多少不動的ナル物的人的基礎ヲ有スルモノト異リ、可動的

デ、必ズシモ一事業一物ニ固着セザルモ可ナリトイフ根本觀ヲモツモノデアル。其指導ノ下ニ輸出工業ガ健全ナル發達ヲ遂クルコトハ出來ナイ。而シテ右ノ金融方法ガ今日日本ニ頗ル廣ク行ハレテ、而モ容易ニ其ノ改變スルノ勢ヲ示サスニヨツテ見ルモ、日本人ナルモノノ屈從的・非獨立のナル民性ノ根柢ガ甚ダ深キコトヲ察シナケレバナラス。

(四)

其レカラ一段低イ所デハ質屋ト高利貸トガ發達シテ居テ、孰レモ可ナリ高イ利子ヲ取ツテ居ル。尤モ此ハ社會上高イ階級ノ間ニモ利用者ガアリ、營業的關係ヨリハ人事關係ニ於テムシロ多ク用キラレテ居ル。但シ一ツノ金融ガ人事關係カラ生シタカ、營業關係カラ生シタカハ往々ニシテ判別ガ困難デアル。其他中下層ヲ通ジテ又田舎都會ヲ通ジテ無盡講又ハ賴母子講ガ古來廣ク行ハレテ居ルガ、此ガ信用組合ニ發達スルヨリハ、寧ロ營利的ナル無盡業ナルモノニ發達シ、其契約高現ニ壹億參千七百萬圓以上ニ上ボルトイフニ於テハ驚ク。今ヤ新法律ハ之ニ關スル取締規定ヲ設クルコトトナツタガ、法律ハ之ヲ定義シテ一定ノ口數ト給付金額トヲ定メ定期ニ掛金ヲ拂込マシメ、一口毎ニ抽籤、入札其他類似ノ方法ニヨリ掛金者ニ對シテ金錢ノ給付ヲ爲スライフトシテ居ル。其特色ハ全ク獨立自助及協同力のデナクテ、營利的商人的ナル企業者ノ指導ノ下ニ金融セラルルコト、之ニ伴フノ貯金ガ自由主義ニ依ラズシテ強制主義ニ依ルコト、貸付ヲ受クル者ヲ抽籤ニヨツテ定ルモノニ在ツテハ貸付ノ公平ナル分配ヲ受ケズシテ、多少射倖的不公平ナル貸付分配ヲ受ルコトトナルコト、等デ、斯ノ如キモノガ日本ノ社會ニ適切ナルモノトシテ大發達ヲ

遂ゲタトイフニ於テハ、日本人ノ國民性ノ如何ニ下劣ナルカガ想像セラルル。第一自分ノ事ヲ自分デ處理スルコトガ出來ズ少クトモ共同的自助デ處理スルコトガ出來ズ、漸ク他人ノ成ヲ待ツトイフコト、強制デナケレバ貯蓄ガ出來ナイトイフコトハ孰レモ人民ノ意氣地ナキコトヲ證明スル。又射倖ニヨル不公平ヲ甘受スルノモ、國民ノ精神狀態ノ堅實デナイコトガ明ニセラルル。此仕組アルニヨツテ高利貸ヤ質屋ニ行クヨリハ多少低利(通例一割七八分ニ當ルトイフ)ナル資金ガ得ラルルダケノ利益ハアラウガ、尙ホ頗ル高キ手数料ヲ取ラレ、頗ル高キ利子ヲ取ラルル所デ、之ヲ若モ彼等同志ノ間ニ信用組合ヲ發達サスルコトガ出來レバ、確ニ一層ノ低利資金ヲ利用スルコトノ出來ルコトニナルノニ、其ヲ爲シ得ナイデ、右ノ高利金融ニ隨喜スルニ至ツテハ其愚ヤ及ブベカラズ。否ナ信用組合ヲ堅實ニ發達セシメ能ハザル國民性ヤ憐レムベキモノデアル。尙ホ此無盡業ニ於テ資金ノ必要ノ切ナル者ガ、低キ入札ヲ入レテ、結局非常ニ高利ナル貸付ヲ受クルコトニナルノハ、已ムヲ得ザルコトトスルモ、間々惡企業者ノ爲メニ誤魔化サレル。特ニ企業者自身ガ組ノ中ニ加入シテ不正ヲ行フコトガアリ得ル。此等ノ弊害ハ今度ノ法律ニヨツテ取締ラルルコトニナツタ譯デアルガ、果シテ十分取締ノ實ヲ舉グルコトガ出來ルヤ否ヤハ疑ハシイ。思フテ此ニ至レバ此種ノ金融ヲ利用スル日本ノ下層民トハ實ニ憐レムヘキモノデアルトイハナケレバナラヌ。

(五)

前項及前々項ニ掲グル所ノモノハ日本ノ中下層ノ金融ノ主要ナル方法デアル。此他ニ彼等ノ金

融ヲ助クル機關トシテハ、古道具屋古着屋ノ類ガアリ。貯蓄銀行郵便貯金ガ其預入レト他方ニ於ケル拂戻トノ間ニ金融ヲ行フコトナリ、保險會社モ保險掛金ノ拂戻ト保險金額ノ拂渡トノ間ニ金融ヲ爲シ、貯蓄銀行保險會社トモニ其集メタル金ヲ多少ハ中以下ノ人々ニモ貸出ヲ爲スコトニヨツテ融通スルデアラウシ、日本ニハ未ダ十分ニ發達セヌガ、將來ハ建物會社力起ツテ中以下ノ人々ノ家屋建築ノ爲メニ金融ヲスルデアラウシ、其レカラ現ニ又地主屋主ノ如キモノガ地代屋賃ノ延納ヲ許スコトニヨリ又ハ其他ノ方法ニヨツテ融通スルコトモアリ、労働者ガ賃金ノ前貸ヲ受ケテ雇主カラ金融ヲ助ケラレ、雇主ガ賃金ノ延拂ニヨツテ労働者ヨリ金融ヲ受クル。極端ナルハ娘妹ヲ藝娼妓酌婦ニ出シテ前借金ヲ受クルカ如キコトモ可ナリ有力ナル金融方法トナツテ居ル。此等ヲ見逃ガスコトハ出來ヌ。ガ此中、藝娼妓酌婦ノ前借金ニヨル金融ハ社會道德上最非難スヘキモノデアル。貯蓄銀行郵便貯金保險會社等ハ下層社會カラ見レバ金ヲ集メテ行カル方ガ主デ、之ヨリ融通ヲ受クルコトハ少イ。通例ハ唯ダ一方ノ預入レ又ハ掛金ヲ爲シツツアル人々ト他方ノ引出シ又ハ拂渡サレツツアル人々トノ間ニ於ケル融通ガ行ハレテ居ルニ過ギナイ。古物商ニ行ツタリ、地代屋賃ノ延納ヲ許サルカ如キコトハ一時的ナル非常ノ場合ノコトデ、其ガ平生行ハルコトハ出來ナイ。平生行ハルベキ性質ノモノデハナイ。労働者ガ雇主ヨリ金融ヲ受クルコトハ隨分行ハル所デアルガ、労働者ノ地位ヲ雇主ニ對シテ從屬的タラシムル缺點モアリ、雇主ガ労働者ニ踏倒サルノ危險ヲ同伴フテ居ル。賃金ノ延拂モ亦タ労働者ヲシテ心ナラズモ或雇主ニ從屬スルノ已ムヘカラザラシムル弊ガアリ、又時ニ雇主ガ賃金ノ支拂ヲ踏倒シテ労働者ヲ苦シムルコトトナルノ危險モアル。要スルニ此等ノ金融方法ハ餘リ多キヲ期待スルコトノ出來ナイモ

ノバカリデアル。

(六)

儲テ然ラバ夫ノ小商工業者ヲシテ大商工業者ノ營業上ノ束縛ヨリ離脱セシメ、職業的高利金融機關ニモ掛ラシメズシテ、相當有利ナル條件ニテ金融ヲ得セシムルニハ、如何ナル途ニ出ヅベキヤ。恐ラク最理想的ナル方法ハ信用組合ヲ起シテ獨立自助ト協同心力トノ二大精神ノ下ニ略ボ同僚ノ境遇ニアル者相寄り相助ケ合ツテ、此共同力デ、各箇人ガ各箇人トシテ金融ヲ受クルヨリモ一層有利ナル條件デ金融ヲ受ケル。其ハ各種ノ銀行ヨリ或ハ個人ノ金融家ヨリシテモ或ハ短期或ハ長期デ借入レル。貸手ノ方デモ個人トアリテハ下層社會ノコトデアリ物の信用ノ基礎モナクレバ人の信用ノ基礎モ乏シク、安心シテ貸スコトガ出來ナイガ、共同團體ニ對スルコトナルト、之ニハ安心シテ安イ利子デモ貸スコトガ出來ルコトナル。斯クラ信用組合デ借入レタル金、并ニ組合員ノ貯金シタルモノヲ以テ組合員ノ必要ニ應シテ頗ル低利デ貸付クルコトニナル。斯クムヘキモノデアル。今日ハ富者階級スラ仕事ヲ爲スノニ又金融ヲ受クル爲メニ、會社トカ組合トカヲ作ル時代デアル。況シテ唯サヘ經濟上不利ノ狀態ノ下ニ在ル下層社會ガ其仕事ヲ爲シ金融ヲ得ルニツイテ自助的共同ニ依ラズシテハ其利益其地位ヲ保全スルコトヲ得ナイ。又此信用組合ハ利害ノ均シク且ツ相互事情ノ明ナリ易キ同地域ノ同業者ノ間ニ行ハルコトナルノガ最當然ノ成行デアル。更ラニ今日ハ何レノ商工業者ノ間ニモ同業組合ガアル。此組合ガ各箇人ノ借入又ハ手形割引ニ際シテ保證ノ地位ニ立チ、以テ組合員ノ金融ヲ助ケルコトモ行ハレ得ル。同業組合ガナ

ケレバ、特ニ同業者間ニ金融組合ヲ作ツテモ良イ。結果ハ同デアル。勞働者ノ間ニモ亦職工組合又ハ特ニ信用組合ガ起ツテ右ニ準ジタル金融上ノ作用ヲ爲スコトガ出來ル。勿論下層社會ノ中ニハ此等ノ組合運動ニ加ハルコトノ出來ザル極下等ナル憐レムベキ連中ガアル。此等ニ對シテハ或ハ地方團體或ハ慈善團體ガ低利ナル對人又ハ對物信用的ノ貸付所ヲ作ツテ、之ニ應スルノ外ハナイ。此ガ最望マシイ。

(七)

所ガ日本ノ實際デハ斯ノ如キモノノ發達ハ極メテ遅々タルモノデ、信用組合ガ多少發達シツツアルノ外、他ハイフニ足ラス。其信用組合モ商工業者ノ間ニハ發達ガ鈍ク、特ニ同業者間トイフ譯ニ行カヌ。同業者間ノ金融上ノ組合保證トイフコトモ仲々容易ニ行ハレナイ。トイフノハ、日本ノ商工業者ハ同業者同志仲ノ惡イノガ通例デ、同業者ノ一人ガ切角努力シ切角信用ヲ博シタル販路ヲ後カラ行ツテ破壊スルコトガ通例事デ、同業者ガ共同デ注文ヲ取ツテ適當ニ相互ノ間ニ配當スルコトガ行ハレ難イ。一時行ハレテモ直キニ苦情ガ出デテ破レルコトニナル。拔驅ノ利益ヲ追フモノガ必ズ出テ來ル。原因ハ共同的個性ガ發達シテ居ラスカラ、營利ニナルト、分配ノ局ニ當ル者ニ公平ヲ缺クコトガ行ハレ易ク、相互ニハ又互譲トイフコトガ行ハレ難イトイフニ在ル。此精神ガ根柢ヲ成シテ居ルカラ、同業組合トイフモノガ堅實ナル發達ヲ遂グルコトヲ得ナイ。其ガ金融上ノ保證ヲ行フコトモ出來難イ。之ヲ實行スルトナルト、同業者中ノ比較的經濟狀態ノ良キ方ノモノハ、直チニ其不良ナル者ト比較シテ、自分ハ損ダ、自分ハツマラン、此ハ人ノ爲メニ

賃債シテヤルノダ、敵ニ糧ヲ假スモノダトイヒ出ス。同業組合ノ場合モ同業者ノ金融組合ノ場合モ同様デアル。否ナ斯ノ如キハ日本人ノ各階級各方面ニ亘リテ普通ノ事デアル。所ガ實際同業組合ガ保證ノ地位ニ立ツタ所デ、他方借手トナレル組合員ニ於テ正確ニ其義務ヲ履行スル。斯ク共同ニ對シテ負フ所ノ義務ハ箇人ニ對シテ負フ所ノモノヨリモ一層大切ノモノトシテ、何事カアソテモ果ス。假令一時不慮ノ出來事ノ爲メニ果タセヌコトニナツテモ、何時カハ是非之ヲ果タストイン位ノ信念ガ一般ニ行ハルルコトニナレバ、他ノ經濟上有利ノ地位ニアリ此組合保證ヲ利用シナイ者又ハ比較的之ニヨリテ利益ヲ受ルコトノ少キ者モ、假令其ノ之ヲ利用スル者又ハ一層多ク利益スル者ガ同業者デアリ競争者デアツタ所デ、之ニヨリテ特段ナル負擔ヲ負フコトニハナラヌ。又之ガ爲メニ同業者全體ガ健全ナル發展ノ遂グルコトニナルカラ此點カラシテモ多少利益ヲ受クルトイハナケレバナラヌ。又自分ガ大體好境ニアリタリトテ、何時不慮ノ災ニ遇ハストモ限ラヌ。此制度アルニヨツテ何時カハ救済ノ途ガアルトイフ保證ヲ得テ居ル譯デ、此點ニ於テ目前デハナイガ、一ノ利益ヲ得テ居ル。之ヲ尊重シナケレバナラヌ。然ルニ通例日本人ハ之ヲ考ソル力ガナイ。目前自分ガ強ケレバ直チニ自分一人強ガツテ居ル。自分ダケ利シテ他人ニハ利セシメタクナイ。自分ノ利ハ少シモ他ニ均霑セシメタクナイト考エル。此腐量見ハ實ハ此場合ハカリデナイ、日本人ノ行動ノ色々ノ方面ニ現ハレテ居ル。所デ他方カラ見レバ組合員中ノ餘裕アル連中バカリ責ムルコトモ出來ナイ。比較的餘裕ノ少イ連中ニモ弱點ガアル。彼等モ心カラ組合ヲ尊重スルノ精神ガナイ。組合保證ノ途ガ開ケルト、之ヲ利用スルダケ利用スル。跡ヲ組合ニ追ツ附ケ、他ノ組合員ニ迷惑ヲ掛クルコトヲヒドク惡イコトトハ思ハヌ。日本人ノ心理カライント箇人ニ迷

惑ヲ掛クルノハ濟マヌト思ツテモ、組合トカ團體トカニ迷惑ヲ掛クルコトヲ左程ニモ思ハス。デ組合ニ迷惑ヲ掛クル者ガ多クナツテ來ルカラ、比較的優良ナル連中モ馬鹿ラシクナツテ組合ヲ脱退スルコトニナル。デアルカラ同業者間ノ金融組合トイツテモ、段々景氣ノ衰イ連中ハ脱退シテ、比較的不良分子ノミ殘ルコトトナル傾ガアル。此組合保證ノ下ニ融通スル銀行其他ノ金融家モ、勢ヒ組合保證ガアルカラトテ左ウ安心ガ出來ナクナル。不良ナル條件デナケレバ融通セヌコトニナリ、組合ノ目的ヲ達セヌ結果ニナル。デ此ガ効果ノ發揮スルノニハ、優良分子ノ心掛モ變ヘナケレバナラスガ、同時ニ實力ノ乏シキ分子ニ於ケル心理狀態モ變ハシナケレバナラス。何ウモ其レガ日本人ノ國民性ノ下ニハ困難デアル

(八)

其處デ日本ノ現在ノ國民性ノ下ニ——將來ハ變化スルカモ知レヌカラ、現在トイツテ置ク——比較的行ハレ易イ獨立自助及協心同力ノ金融組織トシテ發達シツツアルノガ、近頃來臺灣銀行ノ下ニ行ハルル直輪組合トイフノデアル。此ハ外國貿易ニ關係アル小商工業者トイヘバ單純ナル國內ノヨリハ多少進ンダ智力資力ヲ有スル連中デアルガ、其ガ十數人ツツ組合ヲ組織シテ、一定金額側之五百圓位ツツ供託シテ信用ノ基礎トシ此組合員ノ連帶デ有限又ハ無限責任ヲ以テ組合員ノ金融ヲ此銀行カラ受クルコトニナルトイフ。其組合員ガ同業者デナク異業者デアルコトヲ特色トシテ居ル。其レデ相互ニ營業上ノ競争ヲ起サズ、商賣敵トイフ者モ起ラズ、却ツテ地理的ニ同一ノ方面ニ活動シテ居ル場合ニ寧ロ他ノ組合員ノ利便ヲ計ル位ニ助ケ合フコトモ出來ル。幸ニ其

等ノ組合員ガ親類トカ友人トカノ關係デアレバ、他組合員ノ損失モ少シ位ハ負フテヤラウトイン
ニトニナラウシ、又業體ガ異ルカラ、或モノガ景氣ガ惡クテモ他ノ者ガ好イ景氣ヲ享クルノデ互
ニ補償スル作用モ行ハレヤウシ、至極行ハレ易イヤウニ見ユル。併シ此ハ實行後日尙淺イコトデ
アルカラ、果シテ結果ガ良好カハ未ダ能ク分ラナイ。成程此ニモ特色ハアルガ、此場合ニモ尙ホ
此中ノ比較的實力アリ此組合ニ迷惑ヲ掛クルコトノ少キ連中ガボツボツ不平ヲイフコトニナラヌ
カ疑問デアル。日本人ニハ斯カル不平ガ直ク起リ易イ。其中ノ劣者モ組合ヲ尊重スルノ精神ガ乏
シクテ、動モスレバ組合ニ迷惑ヲ掛クルコトヲ輕ク見ル。利用スルダケハ利用スルガ、損害ヲ掛
ケタ場合ノ責任ヲ重ジナイ。組合ガ自分ニ都合ノ長イトイフコトハ認ムルデアラウガ、之ヲシテ
其基礎ヲ鞏固ノモノタラシムル爲メニ、出來ルタケ之ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウニスル又迷惑ヲ掛ケ
タナラバ其始末ヲ良クスルマデノ心掛ハナイ。眞ニ組合ナルモノヲ尊重スルノ精神ガ乏シイ。デ
免所組合ノ不利ニナル蓋然性ガ大キイガ、サウナルト助ケル地位ニ立ツ者ガ不平ヲヒ出ス。日
本人ノ心理トシテ、自分ガ偶々好況ニ在ルト之ヲ皆ナ自力ニ歸スル。最早組合ノ力ノ自分ノ上ニ
及ンデ居タコトニハ考エ及バナイ。又苟クモ組合ヲ作ツタ以上ハ、偶々困マツタ仲間ガアレバ助
ケルノハ當然ノ義務デアルガ、其ヲ甘ンジテ助ケル義務ノ念ニモ乏シイ。茲ニ於テ親族ヤ友人ナ
ラバ随分進ンデ助ケルコトヲ辭セナイトイフガ、實則カライフト仲々何ウシテ、金ノコトニナル
ト、仇敵ノ如クナルノガ多イ。多少ハ甲ノ好景氣ト乙ノ不況トガ補償スルトイフガ、大抵ハ同一
地理的區域ニ營業スル者ガ組合ヲスルコトニナルカラ、皆ナガ同時ニ倒レルコトニナル可能モア
ル。補償作用ハ十分ニ行ハレナイ。左ウナルト此組合保證ノ下ニ金融スル銀行家ガ損スル蓋然モ

アリ、特ニ前記ノ如ク比較的好況ニアル信用スベキ組合員ハ兎角ツマラン、自分ハ人ノ爲メニ苦シムノハ愚デアルトイツテ直キニ脱退スルコトニナリ、組合ハ信用ノ乏シイ連中ノ烏合ノ衆トナリ、之ニ對シテ銀行モ油斷ハナラスコトニナリ、結局不良ナル條件デナケレバ之ニ金融セヌコトニナル。金融組合ノ効果ハ不充分トナル。即チ稍々不満足ナル組合スラ、日本人ニハ行ハレ難イトイツ嫌ガアリ、日本人トハ洵ニ腐甲斐ナキ人間ノ寄合デアル。其レデ此種ノ組合スラ出來惡イトナレバ、矢張り前ニ戻ツテ不満足ナガシ大商工業者ノ前貸ヲ受クル又ハ賒賣ヲ受ケル。其レデ彼等ノ膝下ニ跪イデ、彼等ヨリ營業上拘束ヲ受ケテ金融ヲ得ルヨリ仕方ガナイ。勞働者モ職工組合ハ信用組合ニヨル金融方法ノ利用ガ出來ヌ。此方ノ組織ガ六箇數イトナレバ、勢ヒ雇主ヨリ賃金ノ前借ラスル。何レモ主人ニ對スル奴隸ノ如キ關係ニ立ツコトトナル。其レデモ日本ニハ主從ノ關係トイツ美風ガ行ハレテ居ルトイツテ安心シテ居レルデアラウカ。經濟上ノ拘束ハ一方カラ見レバ困マル點モアルガ、然シ自由獨立ナル場合ヨリモ安心トカ保障トカノ存スル利益モアルカラ、マダ良イトシテモ、此裏面ニ潜在スル高利の金融ニ至テハ弱者タル小商工業者勞働者カラ見テ、何ントシテモ不利デアル。此等ノ主從關係の金融方法ノ及バヌ所ハ高利貸トカ質屋トカ無盡業ナドニ依バコトトナルデアラウガ、固ヨリ高利ノ金融ヲ受クルコトニナラナケレバナラヌ。

(九)

下層社會ノ協同自助の組織ノ及バヌダケデハ、公共的慈善のノ低利貸付ニ依ルヲ適當トスルガ、此ガ日本ニ行ハレナイノハ、一ニハ社會ニ餘裕ナキコトニモ依ラウシ、又一ニハ日本ノ家族

制度ニモ依ル。一面ニ於テハ或人が困マレバ親族ノ何人カガ扶ケル、又扶ケナケレバナラヌ。但シ實際ハ此義務ガ段々薄ライデ居ル。法律ノ要求スル最小限度ノ扶養義務ヲ超エテ扶ケルナドハ、今日ハ殆ンド行ハレナクナリツツアル。他方ニハ家ヲ絶ヤサヌ爲メニ、養子ヲ立テテモ家ト共ニ財産ヲ後繼者ニ遺ナウトスルニ死ニ臨ンデ又ハ生前ニ慈善事業ニ財産ヲ寄附スルコトハ多ク行ハレナイ。血縁ノ遠イ者、放蕩無能ナル者ニ相續サルコトノ明ナル場合ニモ、之ヲ別ニ社會的公共的ニ利用スルヲ選ブコトヲ敢テシナイ。法律モ亦家ナルモノヲ過重視シテ、人が公共的社會的ニ一層有益ニ利用スルコトヲ制限シテ多キヲ爲スコトヲ得ザラシムル。更ラニハ日本人ニ元來慈善心ガ乏シイ。公共犠牲ノ精神ガ乏シイ。餘裕ガアツテモ容易ニ寄附シナイ。寄附スル位ナラ自己ノ享樂ニ充ツル。餘裕ガ出來レバ、先ツ寄附スルヨリハムシロ自己ノ享樂ニ充ツル。偶々寄附スレバ、自己ノ名ヲ出サセナケレバ承知セヌ。名ガ出テテ初メテ自己満足スル。匿名デ寄附スルコトハ極稀有デアル。歐米ニ見ルガ如キ匿名デ巨額ノ金ヲ公共ニ犠牲トシテ自己満足スルコトハ日本人ニハ解セラレナイ。日本人ニ於テ同胞中ノ癩病患者ヲ危險ヲ冒シテ救ツテヤラウトイフ情念ヲ起サヌ間ニ、歐米人が夙ニ此險ヲ冒シテ之ヲ救フコトニ努力シテ居ル。日本人ハ大體慈善的公共心ノ乏シイ國民デ、夫ノ低利貸付金庫ナドノ事業ガ近キ將來ニ發達スルコトヲ期待スルコトハ到底出來ナイト思ハル。

(十)

要之日本人ニハ悲哉國民性ノ弱點又ハ道德的ノ缺陷ヲ有ツテ居ル。其レガ爲メニ理想的ナル下

層金融組織ハ發達困難トイフ形勢デアル。夫ノ國民性ノ缺點ガ種々ノ方面ニ不満足ナル結果ヲ示シテ居ルガ、特ニ此下層金融ノ方面ニモ著シク現ハレテ居ル。日本人ノ道德ガ遙カニ歐米人ノ其ノ上ニ在リナドト自惚ルルコトヲ止メタガ良イ。日本人ノ道德ニモ美點ナシトイフノデハナイガ、缺點ガ確ニ有ル。其缺點ヲ反省シ改變シ、以テ諒政ノ改善ヲ計リ、特ニ此方面ノ改革ヲモ計ルヘキデアル。下層金融ガ甘ク行ハルルコトニナルヤ否ヤトイフコトハ、實ニ我等ノ如キ社會ノ局外ニ立ツテ靜カニ事物ヲ觀察シテ居ル者ニ取ツテハ、洵ニ興味アル一問題デアル。之ヲ以テ日本ノ國民性ノ狀態及其改進ノ度合ヲ判斷スルノ材料トスルコトモ出來ル。吁。